

報道機関各位

熊本大学

国際セミナー開催のお知らせ
「年をとると脳構造と認知機能はどう変化するのか
—血管の健康との関係から—」

このたび、熊本大学文学部の積山薫教授の研究の一環として、米国の Wayne State University の Naftali Raz 教授を講師にお招きし「Aging of the brain and cognition in the context of vascular health 年をとると脳構造と認知機能はどう変化するのか—血管の健康との関係から—」というテーマで、国際セミナーを開催いたします。

Naftali Raz 教授は、脳の構造的な加齢変化、とりわけ正常加齢における萎縮のスピードが脳部位によって異なることを示した研究では、世界をリードする研究者です。

高齢になると、新しく物事を覚える記憶力は低下しますが、その一方で、すでに持っている知識やその運用能力は保たれ、認知機能の加齢変化は一様ではありません。同様に、認知機能を支える脳にも、加齢によって萎縮が急激に進む部位とそうでない部位があります。

このセミナーでは、そうした機能と構造の関係および加齢変化を左右する要因について考えていきます。なお、通訳付きですので、お気軽にお越しください。

大変貴重な機会ですので、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、どうぞよろしく願いいたします。

記

- 【日 時】平成28年8月2日（火）14：30～16：00
【場 所】熊本大学 黒髪北キャンパス 文法学部棟1階 A2 講義室
（熊本市黒髪2丁目40番1号）
【対 象】一般の方・研究者・学生（興味がある方はどなたでも）
【参加費等】無料 ※事前申込みは必要ありません。直接、会場へお越しください。
【問 合 せ】熊本大学 大学院先導機構 人文社会科学系国際共同研究拠点担当
TEL：096-342-2480（直通）FAX：096-342-2310
E-mail：k-senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu/news/20160802jinbunseminar>

Aging of the brain and cognition in the context of vascular health

年をとると脳構造と認知機能はどう変化するのか
—血管の健康との関係から—

高齢になると、新しく物事を覚える記憶力は低下しますが、その一方で、すでに持っている知識やその運用能力は保たれ、認知機能の加齢変化は一様ではありません。同様に、認知機能を支える脳にも、加齢によって萎縮が急激に進む部位とそうでない部位があります。このセミナーでは、そうした機能と構造の関係および加齢変化を左右する要因について考えていきたいと思えます。

(コーディネーター：文学部教授 積山 薫)

日時：2016年8月2日（火）14:30～16:00

場所：熊本大学 黒髪北キャンパス

文法学部棟 1階 A2講義室

講師紹介



Prof. Naftali Raz

(Wayne State University, USA)

イスラエルのHebrew Universityを卒業。テキサス大学オースティン校で心理学と神経科学を学び、1985年に博士号を取得。脳の構造的な加齢変化、とりわけ正常加齢における萎縮のスピードが脳部位によって異なることを示した研究では、世界をリードする。こうした脳の加齢変化がどのような認知機能の変化と関連するか、また、どのような要因によってそのスピードが影響を受けるかなどの研究を続けている。

お問合せ

熊本大学 大学院先導機構 人文社会科学系国際共同研究拠点担当

096(342)2480 k-senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本市中央区黒髪2丁目40-1

研究拠点
人文社会科学系
国際共同研究
拠点事業
（心学系・国際共同研究拠点事業）
研究促進・国際共同研究拠点事業
研究促進・国際共同研究拠点事業